

No. 63

2010 年 9 月 1 日 発 行

宇 治 市 中 央 図 書 館
〒611-0023 宇 治 市 折 居 台 1-1
0774 (39) 9256

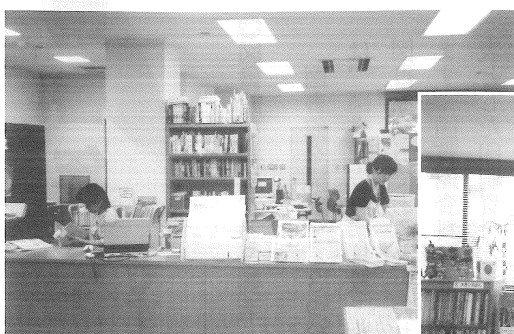
宇 治 市 東 宇 治 図 書 館
〒611-0011 宇 治 市 五 ヶ 庄 三 番 割 36-5
0774 (39) 9182

宇 治 市 西 宇 治 図 書 館
〒611-0042 宇 治 市 小 倉 町 山 際 63-1
西 小 倉 地 域 福 祉 セ ン タ ー 3 階
0774 (39) 9226

とじょかん宇治

公共図書館に思うこと

東宇治図書館長
長村 昌 信



私の子どもが幼い時には、よく中央図書館を利用していましたが、中学校に通うようになってからは、私も含めて利用しなくなり、図書館のことをあまり知らなくなりました。

そのような私が、平成18年4月に中央図書館に異動し、今年の4月に東宇治図書館に異動して、図書館の管理運営業務に携ってから5年目に入りました。しかし、いまだに利用者から「このような本を読みたいので探してほしい」と依頼されても「資料検索」画面からなかなか探し出すことができずに、四苦八苦して他の職員に迷惑をかけている状態です。コンピュータを十分に使いこなせない私にとっては、大変難しい仕事です。

図書館の業務は、図書資料の貸出返却・棚への本返しの外に、レファレンスや予約・リクエストなど多様な業務がありますが、「利用者」に、読みたい図書・資料や知りたい情報を、的確にかつ迅速に収集し提供していく」という、一つの大きな役割があります。

今日では、容易にパーソナルコンピュータや携帯電話から読書や情報の収集をすることができる時代になり、本や新聞・雑誌等が担っている活字文化の衰退が言われている中で、公共図書館の存在がより重要になっていきます。

このような中で、図書館の職員は、常に意思疎通を十分に図りながら、開館時間の延長や身近な地域の図書館づくり・返却ポストの増設など、様々な利用者の意見・要望を真摯に受け止め、利用者サービスの向上を目指していかなければならないと考えています。

そのためには、図書資料の貸出返却・小学生の図書館見学・中学生の職場体験学習・読書活動推進事業等を通じて、幼児や子どもなどの利用者とのふれあいを大切にしていくと共に、親切で丁寧な窓口対応と積極的な事業展開をしていくことが重要です。同時に、公共図書館が果たす役割を十分認識して、職員の相互協力と日々研鑽していくことが大切だと思います。

最後に、私が高校1年生の夏に亡くなった竹材商を営んでいた父がよく言っていた、「人から信用を得ることとは、日二日を大切に、こつこつと仕事をする事により、人が来てくれるし、仕事も持って来てくれる」が、逆に「人から信用をなくすことは簡単で、一つの失敗で一瞬にして信用がなくなり、仕事ができなくなることもある」、と言う言葉が、常に私の頭の中にあり、これをふまえて今後も図書館の管理運営業務を、心身が続くかぎり、一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。



2010年は

「国民読書年」

です。

2008年6月に「国民読書年に関する決議」が国会で採択されました。この決議では、文字・活字によって、人類はその英知を後世に伝えてきましたが、近年、活字離れ、文字離れが進み、読解力や言語力の衰退が社会の劣化を引き起こす大きな要因の一つとなりつつあることは否定できないとして、読書への国民の意識を高めるため、「文字・活字文化振興法」の制定から5年目の2010年を新たに「国民読書年」とすることが宣言されました。

そこで、今回は「国民読書年」にちなんで簡単に図書館の外観を眺めてみましょう。

◎図書館とは・・・

図書館は、知的な創造物を収集して整理・保存し、活用する場であるといえます。

◎図書館を構成する3要素

図書館を構成する3つの要素は、図書館資料、施設・設備、図書館職員であるといわれています。図書館資料は、図書を代表とした印刷資料とそれ以外の各種メディアから構成されています。

各種メディアには、電子書籍、CD、DVD、ビデオ、紙芝居等があります。

施設・設備には、建物、書架、コンピュータ機器などがあります。

図書館職員は、館長、事務職員、司書から構成されます。

◎図書館の役割と効果

・読書を推進する…基本的な機能です。貸出を行い、館内で読む場所を提供し、読書をする

するためには図書館がサポートします。

・教育・学習的役割：図書を活用して児童・生徒・学生の自主的な学習を促進します。

・文化的な役割：図書自体が文化的な存在です。

・余暇的な役割：図書館でゆっくりとすごすことから、読書がもつ楽しみを味わいます。

・情報拠点としての役割：これが最も重要な役割と思われるですが、誰でもが図書館を通して世界中の情報を入手できるといえることがあります。また、公共図書館では、地域の情報センターとしての機能を果たす役割を持っています。

◎図書館の歴史

現代につながる本格的な図書館が現れるのは、紀元前3世紀アレクサンドリアのアレクサンドリア図書館です。

その後、中国では紀元前2世紀頃紙が作られるようになり、木版印刷術も発明され、大量の図書がつくられ流通しました。

大きな転機になったのは、15世紀ドイツの活版印刷技術の発明以後といえます。活版印刷技術の発明はまたたくまにヨーロッパに普及し、多くの出版物が刊行されました。19世紀、図書館は大いに充実・発展しました。フランスの王立図書館、イギリスの大英博物館、また、大学図書館や議会図書館も生まれ、それぞれの目的に合わせた活動が展開されました。アメリカでは、マサチューセッツ州が1848年ボストン図書館を設立しました。

◎日本の図書館のはじまり

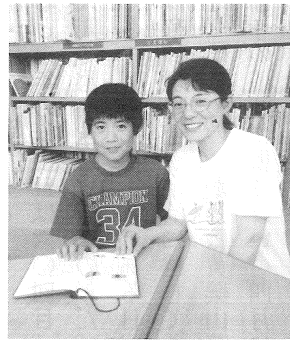
近代的な日本の図書館は、1872(明治5)年、文部省が東京湯島に書籍館しよじやくかんを設立したことに始まります。国立国会図書館の前身です。

公立図書館がつけられるようになるのは、秋田図書館が1899年につくられたのが最初で、その後次々と各地で開館していきました。

図書館へようこそ

インタビュー
第 48 回

豊田 公美子さん



▲ご長男の浩太君と絵本コーナーで

今回は、西宇治図書館をよくご利用いただいている豊田公美子さんにお話を伺いました。

館長(以下K)：図書館はいつごろから利用されていますか。

豊田さん(以下T)：宇治市に引っ越してきた6年前からです。中央図書館も利用しますが、主に自宅に近い西宇治図書館を利用しています。

K：主にどのようなジャンルの本に関心がありますか。

T：絵本や児童書・図鑑等、色んな本を見ています。歴史や環境・音楽等の子どもが学校で習ったことを膨

らませるための調べ学習にも関心があります。

K：現在、西宇治図書館をどのように利用されていますか。

T：地方紙を読んだり、時刻表を見たりしています。子どもがお菓子を作りたいと言ったら料理の本を、どんぐりを拾ったり、昆虫を捕まえたりしたら、図鑑や育て方の本を借りて、子どもの興味に合わせて色々利用しています。また、学校図書館に無い本も借りています。気に入った本があれば本屋さんで買うこともあります。平日は私だけです。休日には家族で利用しています。

K：予約・リクエストはされていますか。

T：たくさんさせていただいています。新聞の広告や書評欄を見て予約しますので、新しく買っていただいている本も多いと思います。また、市政だよりの「あんな本こんな本」で紹介されている本もよく予約させていただいています。

K：図書館のホームページでの検索・インターネット予約はされていますか。

T：パソコンを全く扱えないので、専ら「予約・リクエスト申込書」で予約をしています。

K：自宅で本の検索や予約も出来ませし、メールで予約本のお知らせも出来ますので、ぜひともご検討ください。次に、おはなし会やクリスマス会など図書館の行事があるのを、ご存知ですか。

T：今は学校の授業等の関係で参加できていませんが、昨年のクリスマス会までよく参加させていただきました。お話を聞くだけでなく、参加型の紙芝居があったり、歌や折り紙を教えていただいたりして、とても楽しかったです。スタンプカード等があれば楽しみが増えると思います。

K：なかなか良いご意見ですね。ぜひとも検討させていただきます。ところで、お子さんの浩太君が第9回子ども絵てがみコンテストに入選されたんですね。おめでとうございます。

T：ありがとうございます。浩太は本を読むことの他に絵を描くことも好きです。ご縁があって、北川喜美子さんが出版された「京都むかし語り」の「通夜稲荷の力士」と「蛸葉師」の話の挿絵を描かせていただきました。二つのお話をいただいたのがちょうど夏休みだったので、実際に現地を訪ね、そのイメージを基に挿絵を描いたのですが、薬師如来さ

んやお坊さんを描く参考とするために、西宇治図書館の職員さんに色々本を探していただいて助かりました。その節はありがとうございます。

K：その本なら昨年の秋に北川喜美子さんからご寄付を頂いて郷土資料コーナーに館内図書として配架しています。また「絵てがみ」は9月2日から一週間宇治市中央図書館で巡回展示の予定です。

その他、図書館に対してのご意見があればどうぞ。

T：西宇治図書館の職員さんのフットワークの軽さにも感謝しています。所蔵に関しては、難しい伝記しかないのでマンガの伝記があればよいと思っています。また、地球温暖化関係の児童書はたくさんありますが、成人書も充実して欲しいです。

K：お褒めをいただきありがとうございます。ご意見は今後の資料の収集に役立てさせていただきます。

4月から西大久保小学校のPTA本部役員と図書ボランティアをされ、忙しい日々を送っておられる豊田公美子さんですが、益々図書館を日々の生活に役立てていただきたいと思います。

本日はありがとうございます。

本棚の中の宇治

宇治市と足穂たるほと

おとぎ電車

宇治市の誕生日は昭和二十六年（一九五二）三月一日。おおかたの市民は、普段そんなことにはまったく無頓着に日々を暮らす。だが、あらためて数えてみると来年の誕生日は六〇回目。

人間で言う還暦、節目の年だ。さて、そんな三月のある日、作家稲垣足穂が宇治に越してきた。はじめの一月は黄檗山萬福寺の塔頭に仮住まい。四月に宇治川畔恵心院の一隅に住居を得た。あてがわれたのは、本堂裏の三畳間。壁ひとつ隔てた本堂「段上」には、六臂、八臂、三面、多面の怖ろしい形像が、各種の武器を携え印を結んで、突立っていた。火焰を負っているもの、両脚の下にそれぞれ男と女をふんづけているもの「など」仏像がずらり。その後同院内、宇治発電所工事中の飯場だった

建物に移る。やや広くなつたとはいえ、こちらも当時すでに築五十年に近い物件だが、戦後の住宅難の時代、贅沢は言えぬ。

足穂同様、宇治市の幼少年期を並走したものがもうひとつ。天ヶ瀬から大峰まで、宇治川右岸沿いにおよそ三・六キロメートルを結んだ「おとぎ電車」だ。こちらは宇治市誕生より一足早く昭和二五年一〇月に運行開始。

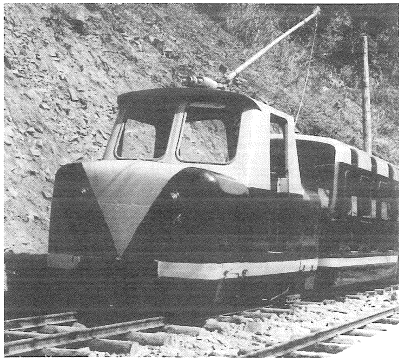
「あさ日山麓の新居に移つて」間もない五月のある日、足穂は散歩の足を天ヶ瀬へとのぼす。「吊橋のかかりに、板戸の上に夏蜜柑やらキャラメルやらをならべて売っているお婆さんがいた」。横のバケツにはラムネも。赤レンガの志津川発電所が「崖上にラインの古城を気取るかのように」そびえる。そこを回り込むと電車乗り場だ。「遠足の子供らより」「近在の交通に利用されているときいたが、なるほど」「進行方向に目白押しに腰かけ」るのは「ほとんどこの山里のオバサン連だ」。

宇治市図書館には、引用する「宇治の景色」はないが、さまざまな作品と足穂紹介本を架蔵。

時間が飛び空想と現実が交錯する世界に違和感を抱く読者もあるだろうが、昭和なかば、わが街のスケッチとして貴重だ。

おとぎ電車は、天ヶ瀬ダム建設の本格化にともない三五年五月を最後に姿を消す。十二月には足穂も桃山へ転居。丘や茶畑が住宅団地となり、宇治市の姿が急激に変貌していくのはこれ以降のこと。歴史資料館では、そんな時代を紹介する特別展「走れ！おとぎ電車 昭和三〇年代の街と暮らし」を開催する。

（れきし・こじま）



利用案内

市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、貸出券を作ること一人十冊三週間、本が借りられます。貸出券は全館共通です。図書館で借りた本は市内のどこの図書館へも返却することができます。

図書館は九時から十七時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、第四木曜日（いずれも祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜日の場合は平日に振替）、年末年始です。

予約された本を市内四カ所の公共施設（木幡公民館、檜島コミュニティセンター、南宇治コミュニティセンター、開地域福祉センター）で受け取ることができます。毎週一回、木曜日の午後

に搬送します。図書館で借りた本は右記の公共施設へ返却することはできません。

あ と が き

夏休みも終わり、まさしく読書の秋到来です。最近、情報もインターネットによるものが主流を占めつつありますが、活字媒体の良さを見直す機会にしませんか。

図書館では、皆様のご来館をお待ちしています。